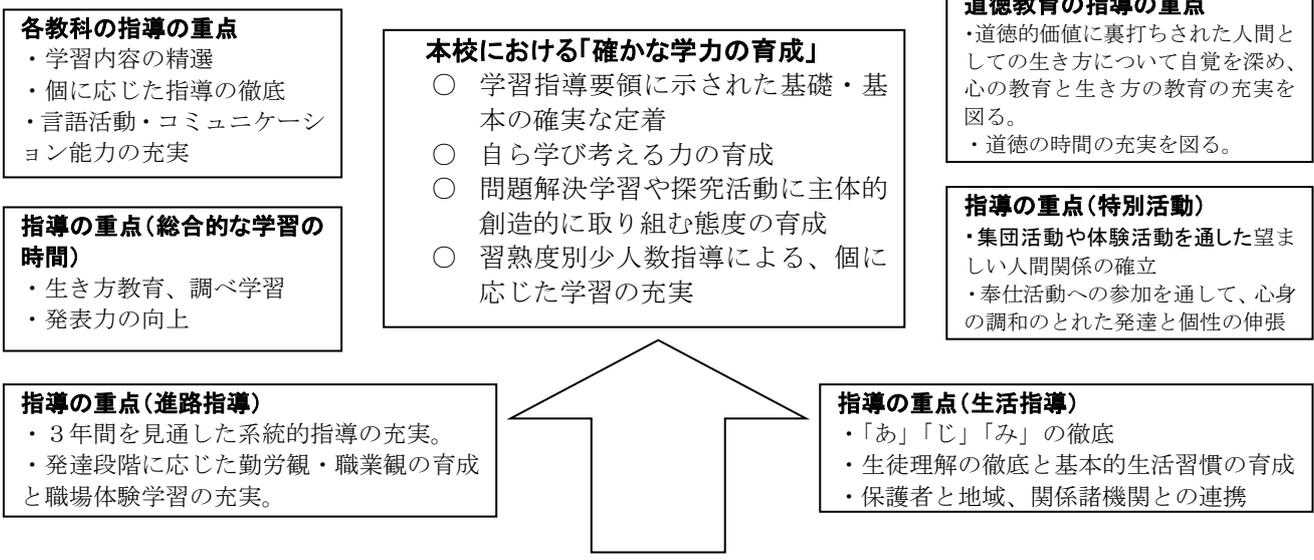


学校経営計画に基づいた学力向上の方針

学力の向上：わかる喜び、学ぶ楽しさを体得させるような日々の授業の実践

- 全教育活動を通じた基礎・基本の定着と個別指導方法の改善により学力の伸長を図る。
 - ・ 数学、英語の習熟度別少人数指導、個に応じた学習方法の充実、ICTの活用
 - ・ 土曜日、長期休業中や定期考査前の補習教室の実施
- 土曜日に学習指導講師を活用した数学、英語の補習授業と英語において個別指導を計420時間実施する。
- 道徳の時間を充実させるために、校内研修会を充実させ、「豊かな心」の育成に努める。
- 生徒の学習環境を整えるために、「あ」（あいさつができる）「じ」（時間を守る）「み」（身なりを整える）を徹底することにより、落ち着いた学習環境をつくる。



本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
◎問題解決型の授業の開発と創造 ◎生徒の主体的に学ぶ力の育成に努める。 ◎小テスト・演習の反復指導及び教材の開発と工夫 ◎興味関心を喚起する。	◎朝学習と朝読書の計画的実施 ◎英検、漢検等各種検定のすすめ ◎長期休業中等の自習教室と補充教室等の計画的な実施	◎授業改善を主題にした校内研修の実施 ◎学校公開週間等を活用した研究授業の実施 ◎ICT機器を活かした授業改善の研究研修と実践	◎3観点の適切な評価評定の実施 ◎教科部会における観点別評価の反省と改善 ◎個人内評価の工夫・改善 ◎評価方法について、学校として組織的・計画的に実施	◎外部評価の積極的な活用 ◎補習教室における学習指導講師の活用 ◎「学習カルテ」を活用した三者面談の実施 ◎朝、挨拶運動と毎月の地域パトロールを通じた健全育成